世界合唱シンポジウム 2026

2026 年 8 月 23 日～ 28 日　マカオ

講師・プレゼンター　募集要項

Reimagining the Future

WORLD SYMPOSIUM ON

CHORAL MUSIC

MACAU 2026

世界合唱シンポジウム 2026
2026 年 8 月 23 日～28 日、マカオ

講師・プレゼンター募集要項

世界合唱シンポジウム(World Symposium on Choral Music, WSCM)2026 は、「Reimagining the Future(未来再創造)」をテーマに、世界のすべての地域からの参加を目指す国際合唱連合(International Federation for Choral Music, IFCM)の理念に沿って開催されます。WSCM2026 では、各国・地域の多様な歌唱スタイルや伝統を探求し、幅広い社会的、民族的、地理的、文化的背景を代表する合唱活動を示す演題・発表を募集します。研究者、演奏家、教育者が合唱に関連する視点、研究、実践を共有する場を提供することを目的としています。発表の題材としては、例えば、合唱の歴史、哲学的原理、現代のリハーサルや演奏のトレンド(指揮法からテクノロジー活用まで)、現代の作曲技法、民謡・先住民の歌唱法のほか、世界中の合唱の豊かな多様性を検証・紹介する様々なテーマが考えられます。世界が多方面で変化する中、WSCM2026 は以下のようなテーマで合唱界の変化を探究・促進する場となります。

(テーマの例)

・オンライン/ハイブリッド/対面リハーサルと演奏
・人種と社会正義の問題
・脱植民地化や多様化を目指す合唱活動
・ダイバーシティ(多様性)、インクルージョン(包摂)、エクイティ(公平性)、参加しやすさに関する懸念
・西洋合唱のカノン
・単旋律文化圏における合唱
・合唱の意義、合唱とは…等々

WSCM2026 では、世界中の多種多様な歌唱伝統の豊かさを受け入れるテーマ「Reimagining the Future(未来再創造)」に沿った発表案の提出を奨励します。このテーマによって、合唱の現状を探求することも、祝福することもできます。現在(これまでと今の変化)と未来(変化する/変化させる可能性)の両方を見据えています。

WSCM2026の発表内容を考えるにあたって、以下の点を考慮してください。

- あなたの国・地域の合唱の独自性は何ですか？
- 自国・地域の歌唱形態の豊かさをどのように共有するのが最も効果的ですか？
- あなたの国・地域であまり紹介されていない歌唱伝統はありますか？
- 地域の先住民音楽・文化の担い手と敬意と相互協力のもとに活動している団はありますか？
- 自国の歴史的音楽は新しい作曲にどのような背景を与えていますか？
- あなたの国・地域の伝統的歌唱形式と他の芸術形式（例えば民俗器楽アンサンブル、舞踊、詩、視覚芸術など）との関係は？
- あなたの国・地域の音楽に特有の演奏慣習はありますか？

WSCM 2026 は従来のプレゼンテーション形式と、革新的な発表形式のどちらも歓迎します。個人での応募も共同発表の応募も可能です。全ての講師・プレゼンターに、自国・地域の文化大使として活動し、その豊かな声楽・合唱伝統を紹介することを奨励します。本国際シンポジウムは、世界の合唱活動を、祝祭的かつ多彩な音楽表現の万華鏡として祝福することを目指します。

WSCM 2026 は、大学院生や若手プロフェッショナルを含む、あらゆる経歴の演奏家・研究者からの応募を歓迎します。シンポジウムでの発表時間は 75 分で、英語で行うものとします。

【参加条件】

1. 講師・プレゼンターにはシンポジウム全期間の無料登録、5 泊分の宿泊および食事が提供されます。
2. 講師・プレゼンターはシンポジウムプログラムおよび公式サイトに掲載する発表抄録（100 語以内）を提出すること。
3. 契約締結には必要資料のすべての提出を条件とします。
4. 採用された講師・プレゼンターは WSCM2026 に参加し、予定された当該セッションで発表する必要があります。応募することで参加・発表を確約したものとみなします。

5. 参加の諸条件に基づき、合唱団・声楽アンサンブル・講師・プレゼンターの現地までの渡航費は本人が負担します。応募はすなわち「招待された場合、招待を受諾し、自己負担で渡航し参加する」意思のあることを意味します。

【発表のガイドライン】

- **形式と時間**：シンポジウムのプレゼンテーション時間は 75 分、英語で行うこととします。
- **発表形式の例**：
  ・講義： 筆者が論文内容を発表。発表後に質疑応答
  ・セミナー： 参加者をブレーンストーミング、ペアワーク、グループ討論に関与させる形式
  ・参加型ワークショップ：参加者を様々な実践的活動に関与させる形式
- 発表は WSCM2026テーマ「Reimagining the Future（未来再創造）」に沿っていること。題材として、技法、解釈、演奏実践、特定地域に固有の楽曲、研究、革新的な形式、新時代の音楽、合唱界のコミュニケーションなどが考えられます。
- 配布資料（例えば、発表の要旨、参考文献リスト、演奏データ一覧など）を推奨します。楽曲例を扱う場合は曲目一覧（各曲の出版社・カタログ番号を含む）を提供してください。紙媒体の用意は発表者の責任です。デジタル資料の配布を奨励します。配布資料はシンポジウムアプリでも配布します。配布資料の提出期限は、各講師・プレゼンターに通知します。
- 印刷された楽譜を配布したい場合は、国際著作権規制を遵守するため、発表者自身がすべての著作権関連許諾を確保する責任を負います。セッション参加者用に楽譜を複写するには、適切な出版社または作曲者の書面による許可が必要です。
- スライド発表には、講師・プレゼンター自身のノートパソコン、ケーブル/アダプター類、USB や外付けドライブ等をバックアップとして持参することを推奨します。
- 演奏録音資料はできればスライドに埋め込むこととします。埋め込まない場合は、技術スタッフが整然と効率的に録音資料を提供できるように、必ず書面のプレイリストを用意してください。演奏団体の情報を含めて、プレゼンテーションで使用する録音資料の出典を示した録音データ一覧を書面で添付してください。

- 発表内容の例示のため、実演用アンサンブルの使用を検討してください。実演アンサンブルによって、セッションを生演奏で始めたり、締めくくったりしましょう。発表中、何度も実演を利用しましょう。様々なタイミングで参加者が実演アンサンブルに加わることも検討してください。実演アンサンブルは講師・プレゼンターが手配しなければなりません。主催者は、講師・プレゼンターと招待合唱団や声楽アンサンブルを繋ぐお手伝いができます。実演アンサンブルの技術要件については申請フォームに記載してください。

発表を利用して音源や出版物等の製品（特に自作）を宣伝・販売してはなりません。音源や出版物、その他の製品を販売したい場合は、出展コーナーをご利用ください。

【応募方法】

すべての応募情報・資料はメールで提出してください。送付先： wscm2026@ifcm.net
注：提出方法は「Google Form」での応募に移行する予定です。提出の際は WSCM **公式サイト**（https://www.ifcm.net/projects/world-symposium-on-choral-music）**をご確認ください。**

【提出資料】

- 講師・プレゼンター略歴（150 語以内）： 選定後にシンポジウムのプログラムやモバイルアプリ、WSCM2026 ウェブサイトで使用します。下記のとおり詳細な経歴書も必要です。
- 講師・プレゼンター写真（JPG 形式、300dpi、3,000×2,000 ピクセル以上、縦長）： 選定後にシンポジウムのプログラムや WSCM2026 ウェブサイトに使用。ファイル名は<発表者名_Photo.jpg>とすること。
- プレゼンテーション企画案（500 語以内）： 本文に発表者名や所属を含まない形で提出。
- プレゼンテーション要旨（100 語以内）： 選定後にプログラムと公式ウェブサイトに使用。
- 履歴書・経歴書（2 ページ以内、.doc 形式）：ファイル名<発表者名_CV.doc>として提出。
- 技術要件：会場にはスクリーン、液晶プロジェクター、キーボード、スピーカーが用意されます。スライド表示用 PC、ケーブル・アダプター類はプレゼンター本人のものを持参し、プレゼンテーションを保存した USB スティックや外付けドライブもバックアップとして持参することを推奨

します。必要な追加機材や設備で準備できないものがある場合は、必ず応募時にその詳細を明記してください。応募時に記載のない依頼については、主催者は対応を保証できません。主催者は追加の技術要件についてできる限りの対応をしますが、特別な要望については保証できません。

*提出書類はすべて英語で作成してください。上記の提出書式以外は受け付けません。応募書類は**2025 年 10 月 15 日**必着とします。締切に遅れた場合は受け付けませんので、応募者は十分な時間的余裕を持って準備し、提出期限の延長を期待しないでください。選考結果は **2025 年 10 月 31 日**までに発表されます。

【選考基準】

WSCM 2026 は学術、教授法、実践の多様性を紹介することを目指します。選考委員会は、演題・形式、目標・目的、内容・構成、学問性・実践性・演奏、関連性・関心・時宜性、全体の印象、テーマ「Reimagining the Future（未来再創造）」との関連性に基づいて審査します。ダイバーシティ（多様性）、インクルージョン（包摂）、エクイティ（公平性）の目標を果たすため、招待講師・プレゼンターの地理的バランス、テーマや発表形式のバランスを考慮します。選考委員会による選考結果を最終決定とします。

【問い合わせ先】

応募に関する質問は WSCM 2026 芸術委員会（wscm2026@ifcm.net）までお問い合わせください。

【主な日程】

- **2025 年 10 月 15 日**: 講師・プレゼンター応募締切
- **2025 年 10 月 31 日**: 招待講師・プレゼンター選考結果通知予定
- **2025 年 11 月 15 日**: 招待受諾期限
- **2026 年 5 月 1 日**: 最終要旨・配布資料提出期限